

**令和元年度 COC+事業 実践力養成型（寺子屋式）インターンシップ
説明会および受入先さま向け振り返り会 実施報告**

(1) 主旨・目的

次年度のインターンシップ受け入れを検討している企業に対して、インターンシップの説明会を実施した。また、今年度のインターンシップの受入先が、インターンシップの振り返りをもとに知見を共有し、次年度のインターンシップ事業の課題について協議するための振り返り会を併せて開催した。振り返り会には、今年度の受入団体およびドン（学内メンター）、説明会に参加した次年度の受入を検討する企業・団体が参加した。インターンシップ実施の効果を共有すると共に、負担となった点・問題点の整理と対応策を協議した。

(2) 日時

令和2年2月5日（火）14時30分～17時00分

(3) 場所

徳島大学常三島キャンパス 地域創生・国際交流会館3階 共用室301, 302

(4) 参加者

インターンシップ受入先 14団体 12名
インターンシップ検討企業・団体 11団体 16名
ドン（学内メンター） 1名
インターンシップ修了生 5名

(5) アンケート結果

①参加した感想

- ・今期のインターンシップで課題と感じていたことの言語化がしっかりできたのが大きな成果だった。
- ・現在雇用している10代の社員（動かない、やろうとしない）の指導について会社として対策したいがどうしたらよいかわからないという声があったので、本日の内容を参考に持ち帰りたい。
- ・改めて本年度の取り組みを振り返れて良かった。
- ・毎年学生の思考に変化があるので、4月から新入社員を迎えるに当たり、大変勉強になった。
- ・他企業のISP生に対する苦勞を顕著に聞くことができ、学生側の意見も聞け、わかりやすかった。
- ・インターンシップの意義や理念について良くわかった。所内での人材育成に活かしていきたい。
- ・他のチームも大変だったのだな…と知ることができた。これからの世代の育成方法について考えさせられた。
- ・学生や今の若い世代のことをもっとよく理解したい。他の企業様がどういう考え方、手法で彼らと付き合っているか、もっと知りたい。情報交換したい気持ちになった。
- ・改めて参加されていた学生さんがすごく成長したなと感じた。
- ・継続的に社員と共に取り組んでいきたい。
- ・経営のことや組織体制の作り方を学べたので楽しかった。とても勉強になった。
- ・学生新入社員に対しての受け入れ側の姿勢、考え方について皆様の意見が聞けたので社内で共有していきたい。

②インターンシップの成果について

- ・今まで4年間の集大成であると同時に、次年度に繋がる成果を得た。
- ・「できなかったこと」「企業として設計できていないこと」に直面できたことが真の成果だった。

- ・今後、大事に育てていきたい種ができた。重要ではあるが、緊急性のないもの、また、将来に向けての行動に一步踏み出すことは相当な労力があるため、今回の種をしっかりと将来へつなげていきたい。
- ・学生とのスケジュール調整が難しかった。もう少し時間があれば双方に有益なものになっていた。
- ・今回のこちらのプロジェクトで参加してくれた3人の糧になっただろうか、と思う。他のチームならもっと成長できたのかな、と。その意味では、受け入れ先への指導に力を入れるのも必要ではないか。
- ・やって良かった。課題もたくさん見えた。道筋は見えました。引き続きプロジェクトを進めていかなければ…。次年度以降はもっと良くしたい。
- ・昨年があまりにもスムーズだっただけに、今回はスケジュール、流れ、内容など、様々な苦勞がありました。何とか最後までやり遂げたい。
- ・学生から十分なデータを取ることができ、多彩なアプローチ案を提案してもらったので、うまく活用していきたい。
- ・社内がすごく変わってきました。(ISP 成果物を基にした) 今後の活動を通じて、社員一人一人の更なる成長を期待している。そうなるよう努力していく。
- ・受け入れ担当が大きく変わりつつある。
- ・社員に対して新しいプロジェクトを進めるための理解が得られた。社員から意見が出てくるようになったことは成果だと思う。(ISP 成果物の) これからの使い方が重要になってくる。

(6) 説明会および振り返り会の様子



説明会の様子



説明会の様子



振り返り会の様子



振り返り会の様子